

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会
鎌倉・大船地区災害対策キャラバンが開催されました。

去る平成26年11月16日(日)鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院におきまして「災害対策委員会 鎌倉・大船地区災害対策キャラバン」が開催されました。

今年度より災害対策研修会と並行して、神奈川県内における二次医療圏域に準じた形で、本会独自に地域ブロックごとの災害時における連絡・調整担当(エリアコーディネーター)を配置しました。有事の際には、有効に機能する災害リハビリテーション支援ネットワークを構築していくために、今回はその第1回目として鎌倉・大船地区を対象とした災害対策キャラバンを開催しました。

講師には鎌倉市役所より佐藤明彦氏(防災安全部 総合防災課)、石黒知美氏(市民健康課)に加え、実際に石巻や気仙沼で長期間、コーディネーターとして奔走した菅原健介氏(小規模多機能居宅介護 絆)を迎え鎌倉・大船地区における災害時の医療支援体制や要援護者対策、保健師の具体的な保健活動からリハビリテーションとの連携についてお話いただきました。鎌倉市にて想定している災害時被害想定から現状における要援護者支援対策、また避難所運営や福祉避難所の設置条件、防災体制における今後の課題についてフロアと意見交換しながら詳細なデータも教示していただきました。また菅原氏からは、自身の活動経験から平時における地域の課題が災害時の課題に直結する事を痛感し、発災後早期からのリハビリテーションの視点を持った取り組みが必要である事と「地域力=防災力」の重要性を強く訴えられていました。防災無線から発信される避難所情報など、より具体的な地域特性を捉えた災害対策キャラバンならではの情報も多く、充実した内容となりました。



今回は80名を超える多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。またエリアコーディネーターとして事前の打ち合わせから積極的な広報をしていただきました黒水俊吾先生、会場の手配・調整を引き受けてくださいました聖テレジア病院の小山理恵子先生と当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。本キャラバンをきっかけに、災害リハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりとしてブロック・地域ごとの行政機関や保健センターなどとの連携を深めていけるようにしていきたいと考えています。



次回は平成27年2月1日(日)10時より平塚共済病院にて「平塚・湘南西部地区 災害対策キャラバン」を開催する予定です。来年度も災害対策研修会と各ブロックを対象にした災害対策キャラバンを予定しています。より多くの方々のご参加をお願い致します。

(文責：神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次)